



南丹市陸上競技協会

南丹市陸協通報



『施設の充実と共に成長する陸協を』

南丹市陸上競技協会

会長 中村 武司

第35回南丹市陸上競技協会定時総会において2017・2018年度の役員改選が行われ、引き続き会長職をご指名いただきました。

この度の改選では永年ご協力頂きました坂本好宏監事様のご勇退され、新たに前田厚様にご就任いただきましたが、三役および各部長は全て留任となり新年度をスタートしました。新役員一同南丹市陸協の更なる発展を目指す決意ですので、会員の皆様の一層のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、2015年秋より全面改修され、昨年7月に装いを一新した府立丹波自然運動公園陸上競技場が、3月3日～4日に日本陸連検定員による検定が実施され、4月から日本陸連公認第二種陸上競技場に昇格し、大会プログラムに記載される競技場コードも改定されました。

これを機に、私たちの競技会運営も競技場の昇格に負けないよう更なる充実を図る取り組みを準備しています。当協会が主催、主管・運営協力する競技会は少なくありませんが、公認審判員の皆様にご協力いただき、市郡陸協を牽引する陸協として存在感を高めてまいりたいと考えています。

一方、競技力向上の取り組みでは、地域での児童数減少が続き小学校の廃校・合併という厳しい環境の中、小学生陸上教室の登録者数増加（139名）と陸上教室開催数（20回）、参加者数増加（平均522名）は大きな力とり、府下レベルの競技会での入賞者も複数出てまいりました。課題は指導者の確保なので、ご協力頂ける方は是非、岡本強化部長までご連絡をお願いします。

また、2年前より明治国際医療大学で陸上競技部の選手強化の取り組みが進められ、指導体制が充実し、競技会への積極的なエントリーや審判員協力が進み、南丹・船井地域に小学生から大学生までの強化・普及ルートが整ってきました。今後の課題は、中学生・高校生の競技力向上を目指し、協会としてしっかりとした支援をしていく事が必要ではないでしょうか。

昨年新設された、府立トレーニングセンターや新たに併設された合宿所が、私たちのホームグラウンド内にあるという環境を大いに活用し、2020東京オリンピック、2021関西ワールドマスタース大会開催を機に、南丹地域の競技スポーツ・地域スポーツ振興の一翼を担えるよう陸上競技協会としても成長していきたいものです。

丹波自然運動公園陸上競技場 第2種公認に昇格

当協会の主催、主管のメイン競技場である府立丹波自然運動公園陸上競技場が本年度から、日本陸上競技連盟公認の「第2種競技場」となりました。

この度の施設の充実に併せ、競技力向上とそれらを支える協会の組織強化と審判員の確保、充実が益々求められています。



光波測定器による円盤投げの記録測定風景

競技場の第2種公認昇格に伴い、備品の充実が進み、ハードルや跳躍マットの整備をはじめ、投てき関係では、競技場内で競技可能なようサークルゲージや記録測定のための光波測定器なども整備されました。

第二種公認昇格検定の様子 (2017年3月3～4日)



3月3日、4日に実施された検定では、日本陸連の検定員をはじめ関係者が出席。
全ての種目の距離、高さ、角度等をメジャーと光波距離計測器で計測され、用器具においても確認作業が実施されました。

第36回南丹市陸上競技選手権大会 開催！

本協会最大の主催競技会である南丹市陸上競技選手権大会が今年で36回目を迎え、7月17日に府立丹波自然運動公園陸上競技場で開催。競技場が第2種に昇格して初の選手権大会であり、小学生から大学生・一般社会人に至るまで、出場者525名が記録に挑みました。今回は、裏方にあたる審判員の方々を中心にスポットを当てました。



開会式での会長あいさつ



選手宣誓



記録整理



競技前の事前打合せ



走幅跳の調整



100mのスタート



女子砲丸投の試技



アナウンスの確認



役員受付



投てきでの光波測定器の使用

クラブ紹介!!

南丹市陸協に加盟する管内唯一の大学の陸上部である『明治国際医療大学陸上競技部』を紹介します。(投稿：森 利夫氏)

明治国際医療大学陸上競技部



明治国際医療大学 陸上競技場

明治国際医療大学は平成27年4月より「スポーツ振興プロジェクト」を立ち上げ、陸上競技(男女)の強化を始めました。施設環境では、タータン6レーンの陸上競技場や投てき場、照明施設やトレーニング場の完備、また合宿所(47名収容・ユニットバス完備)や選手をケアする「アスリートサポートセンター」の設置など、選手が十分に活動できる条件を整えました。

現在、陸上競技部は、選手62名(3回生:10名、2回生:17名、1回生:35名)、マネージャー4名で活動しています。

部長に木村篤史、総監督に安田賢司、短距離・跳躍監督に森利夫、そのコーチに中才幸樹、中長距離監督に岡本昭、投てき監督に池本敬博の5名が指導し、昨年、一昨年と全日本医歯薬獣学生陸上競技選手権大会では男子総合優勝、女子総合準優勝と明治国際医療大学が始まって以来の大きな成果を出すことができました。関西インカレにも多くの選手が出場し入賞できるようになり、今後は西日本インカレや全日本インカレで入賞できるよう頑張っています。

また、一般では「明治国際医療クラブ」を立ち上げ、南丹市陸協に加盟させていただき、卒業生を中心に活動を進めることができるようになりました。

南丹市地域の陸上競技の強化と普及に少しでも貢献できるよう活動しますので、今後ともご支援をいただきますようお願い申し上げます。